

[2021.02.12]

証券コード：4392 東証一部／福証本則

2020年12月期 通期決算説明会資料

当社の設立は2018年7月ですので、2018年6月までの実績は
モバイルクリエイイト株式会社の連結実績で集計しております



目次

会社概要	P.2
FY2020 決算概要	P.5
FY2021 計画と取り組み	P.15
参考資料	P.27

会社概要



FIG会社概要（グループ相関図）

 Future Innovation Group F I G（東証一部・福証本則） 純粋持株会社	商号	F I G株式会社（Future Innovation Group, Inc.）
	設立	2018年7月2日 ※グループ前身のモバイルクリエイト設立は2002年
	代表者	代表取締役社長 村井 雄司
	所在地	大分県大分市東大道二丁目5番60号
	従業員数	696名(2020年12月末現在連結)

グループ事業会社

情報通信

中核会社



モバイルクリエイト

中核会社



ケイティーエス



オプトエスピー



ciRobotics



PRIMECAST
プライムキャスト

孫会社（国内3社、海外2社）

装置

中核会社



石井工作研究所

情報通信事業

装置等関連事業

想像と技術と情熱で快適な未来を創造

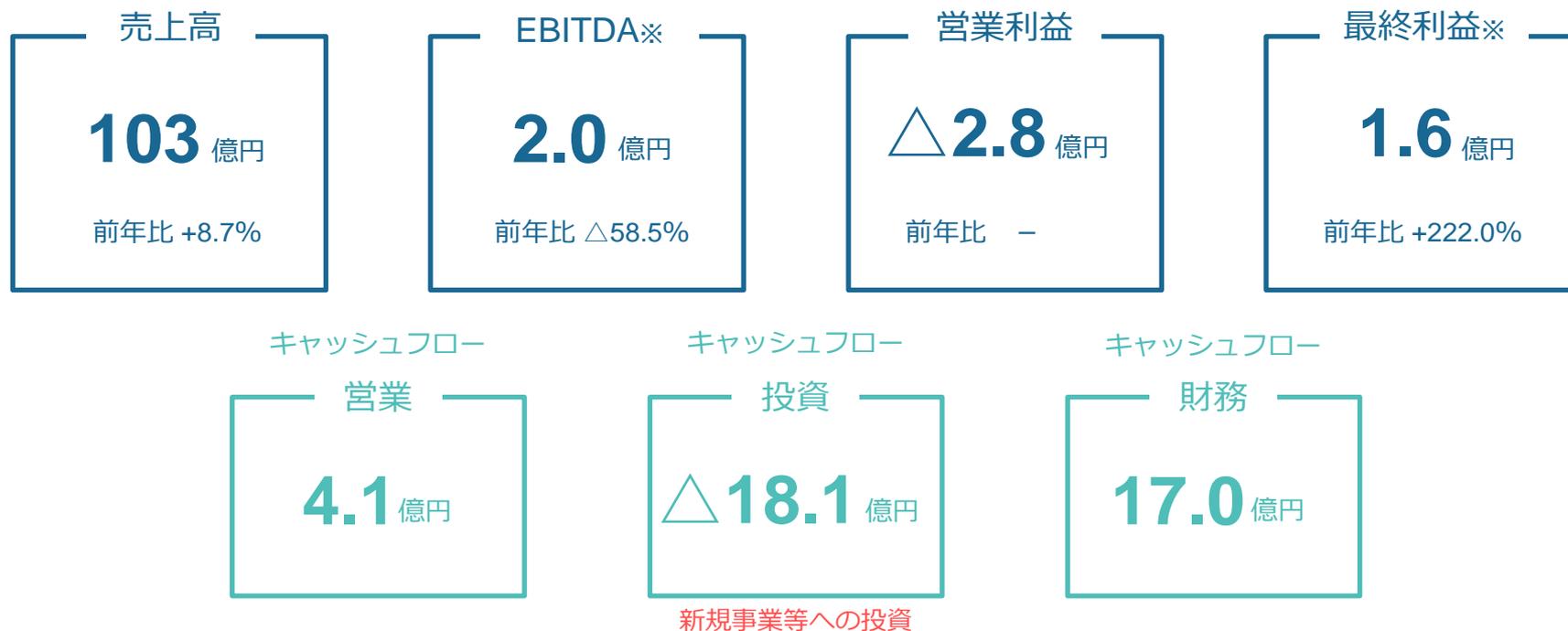
バーチャルとリアルを融合したIoT分野でのサービスを提供し、スマートな社会の実現に貢献します



FY2020 決算概要



FY2020 決算ハイライト



Point

- 売上高は初の100億円を突破、収益の基盤となるストックビジネスは伸長
- 営業利益はマイナス（情報通信事業は好調なもの、装置等関連事業が大苦戦）
- 新型コロナウイルス禍においても、キャッシュフローに問題なく投資は継続（新規事業等）
- 特別利益計上で最終利益はプラスで着地

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

新型コロナウイルスの影響

情報通信事業は影響は受けるも、ストックビジネスの基盤で業績は好調

装置等関連事業への影響は大きく業績が大幅に悪化、但し足元では回復の兆しが出始めている

(中核の事業会社3社の状況)

情報通信



モバイルクリエイト

- ・ 主力顧客（タクシー・バス・物流の事業者）のうち、タクシー・バス事業者が新型コロナで乗客減少の影響を受けているものの、ストックビジネスの基盤により業績は好調
- ・ 物流向けは好調に推移、タクシー向けも決済の月額定額プランが好調に推移
- ・ バス向けは足元では苦戦しているものの、決済やデータなど、新たなビジネス展開を図る



ケイティーエス

- ・ 主力顧客のホテル事業者が新型コロナで宿泊客減少の影響を受けており一部の事業者に廃業や休館が出ているものの影響は限定的
- ・ マルチメディアシステムのレンタルがメインであり、若干の解約は出ているものの大きな影響はなく、事業基盤はしっかりとしている



石井工作研究所

- ・ 主力の自動車関連にて設備投資計画の見直し、受注案件の減少により価格競争が激化する中で利益率が悪化、受注案件の受入検査にも影響があり納品の期ズレも発生
- ・ 新型コロナ以外の他要因もあり業績が大幅に悪化、足元では受注ベースで回復をしてきているものの、収益反映には時間を要するため、FY2021下半期からの業績回復を見込んでいる

装置

業績サマリー

(単位:百万円)

	FY2019	FY2020	増減額	増減率
売上高	9,504	10,333	+ 828	+ 8.7%
売上総利益	2,232	2,302	+ 69	+ 3.1%
EBITDA	493	204	△288	△58.5%
営業利益	47	△ 284	△332	—
経常利益	73	△ 256	△329	—
最終利益	52	169	+ 116	+ 222.0%

- 退職給付制度改定益 756百万円を特別利益に計上
- 投資有価証券評価損 80 百万円を特別損失に計上

セグメント別業績

(単位：百万円)

	FY2019	FY2020	増減額	増減率
売上高	9,504	10,333	+ 828	+ 8.7%
情報通信事業	4,955	6,680	+ 1,725	+ 34.8%
装置等関連事業	4,548	3,652	△ 896	△ 19.7%

(単位：百万円)

	FY2019	FY2020	増減額	増減率
営業利益	47	△ 284	△ 332	—
情報通信事業	325	887	+ 561	+ 172.4%
装置等関連事業	162	△ 695	△ 858	—
新規事業	—	△ 0	△ 0	—
調整額	△ 441	△ 476	△ 35	—

→ 装置等関連事業の業績が大幅に悪化（業績回復時期はズレ込んでおり、FY2021下半期よりの回復を予定）

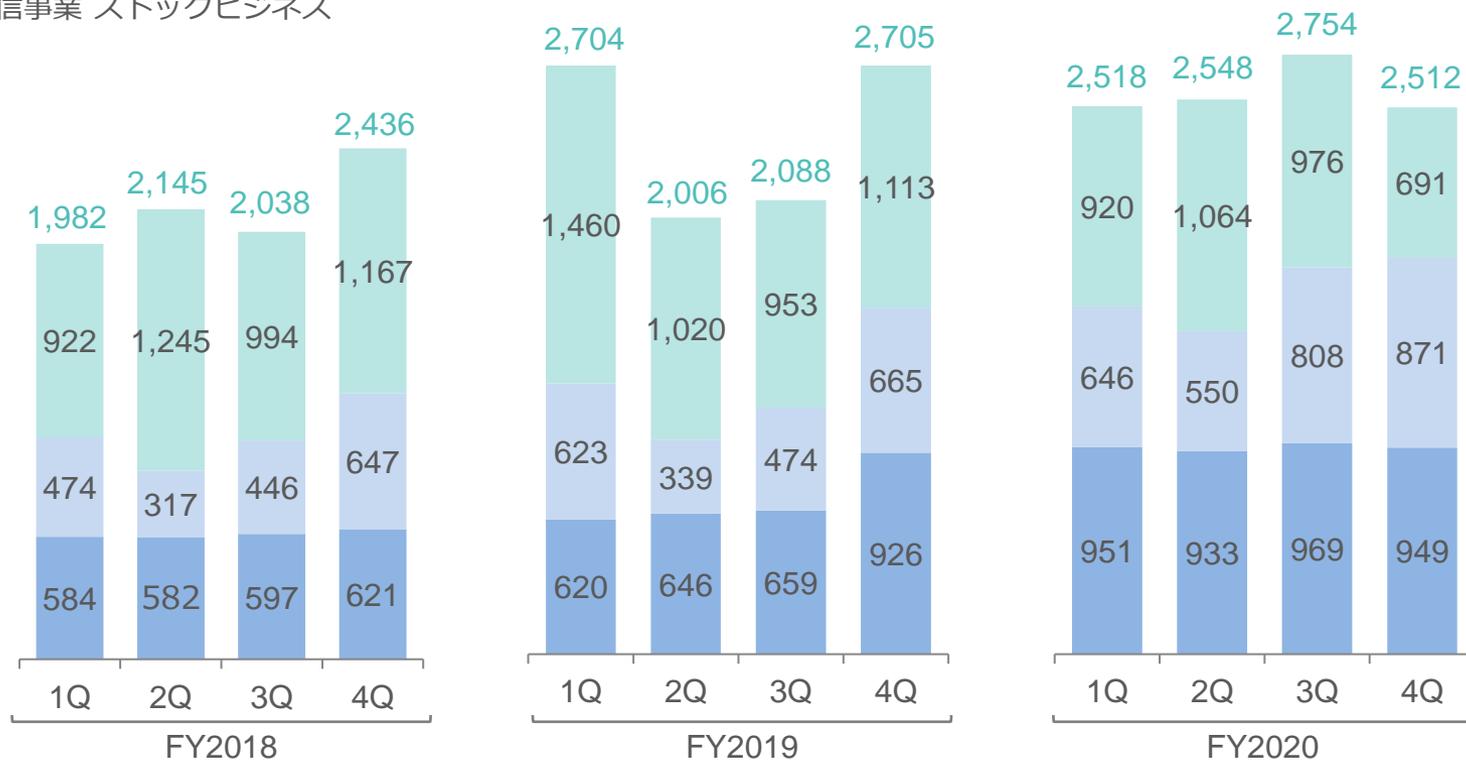
※新規事業の売上高計上はFY2022からの予定

四半期 売上高推移

- FY2019、4Qよりグループ中核会社ケイティーエスの連結開始（ストックビジネスの基盤が拡大）
- FY2020のストックビジネスは新型コロナウイルスの影響を受け、若干の増減があったものの、大きく崩れることなく収益基盤を維持

- 装置等関連事業
- 情報通信事業 フロービジネス
- 情報通信事業 スtockビジネス

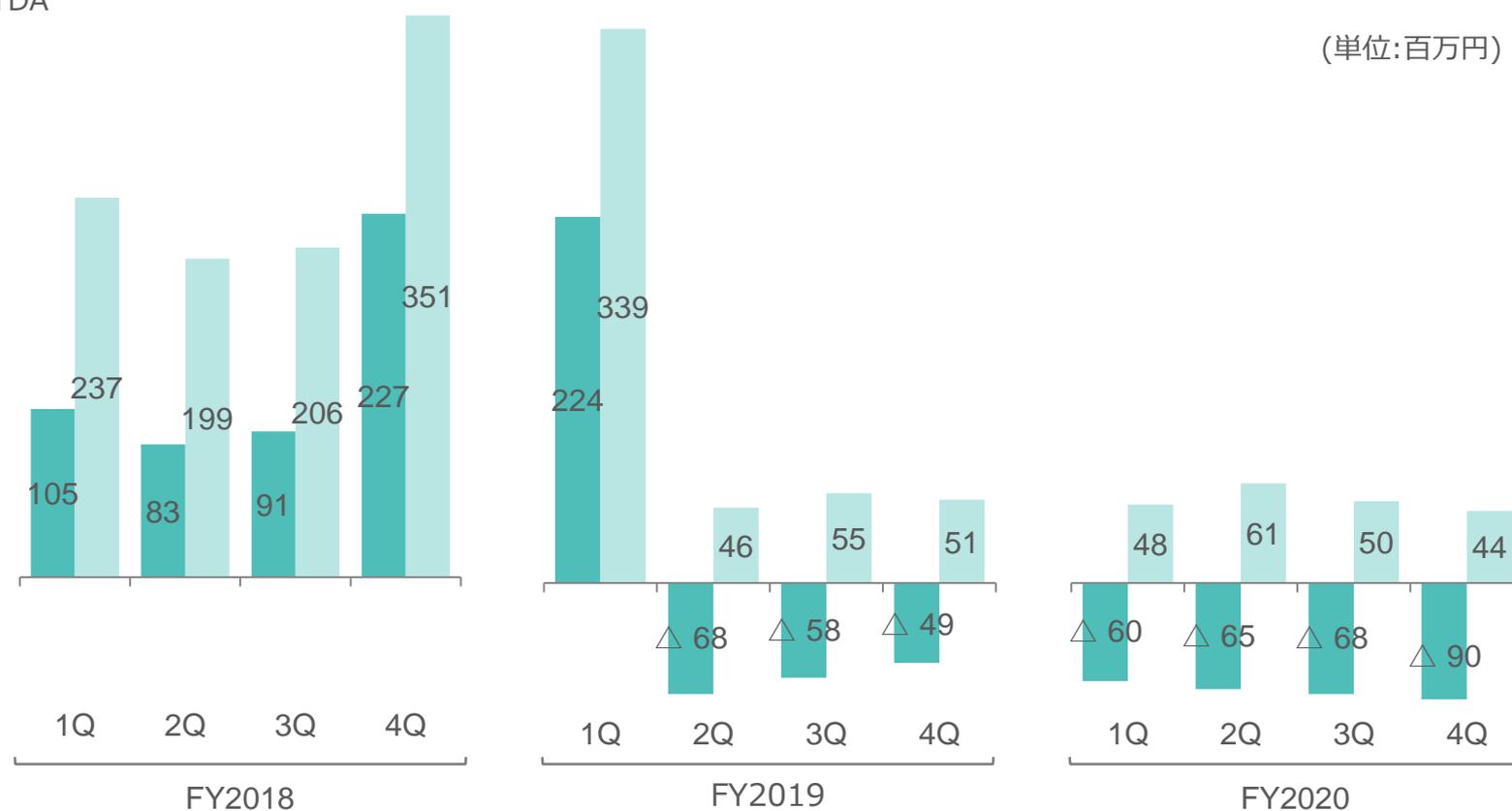
(単位:百万円)



四半期 営業利益・EBITDA推移

- FY2019、2Qより営業マイナスが継続、装置等関連事業が苦戦
- EBITDAは継続的にプラスを維持し、キャッシュフローに問題はない

■ 営業利益
■ EBITDA



情報通信事業 業績推移

- ケイティーエスのグループ化により売上高が伸長
- 営業利益の大幅な増益は、モバイルクリエイイトの業績好調が主な要因
- グループ会社のオプトエスピーが業績好調（コールセンター向けメインの通話録音システム）

売上高

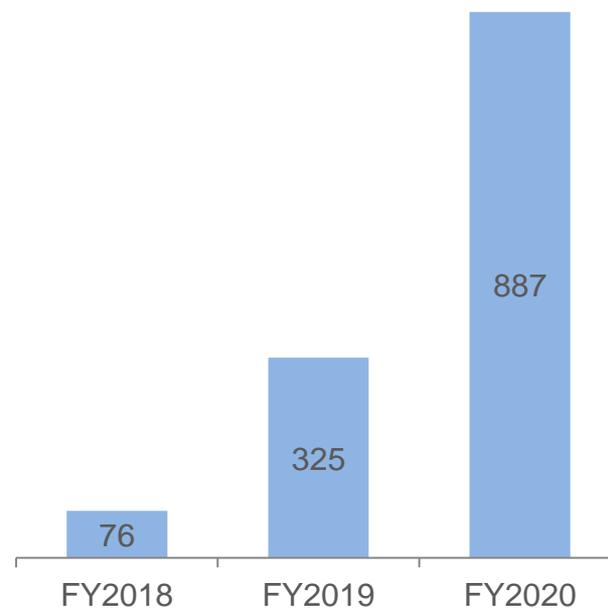
(単位:百万円)

- フロービジネス
- スtockビジネス



営業利益

(単位:百万円)

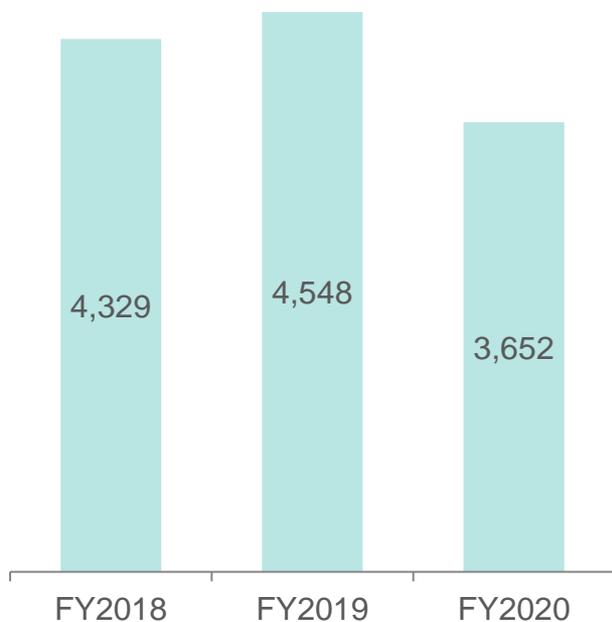


装置等関連事業 業績推移

- 大幅な営業赤字、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの影響により主力の自動車関連が苦戦（価格競争の激化）
- 5GやAI、IoTなど需要が見込まれる新分野の開拓受注において、新規開発段階での赤字案件が発生
- 足元では受注ベースで主力の自動車関連も回復基調であり、半導体製造装置市場全体も成長基調にあるものの、収益反映に時間を要するため、FY2021下半期よりの業績回復を予定

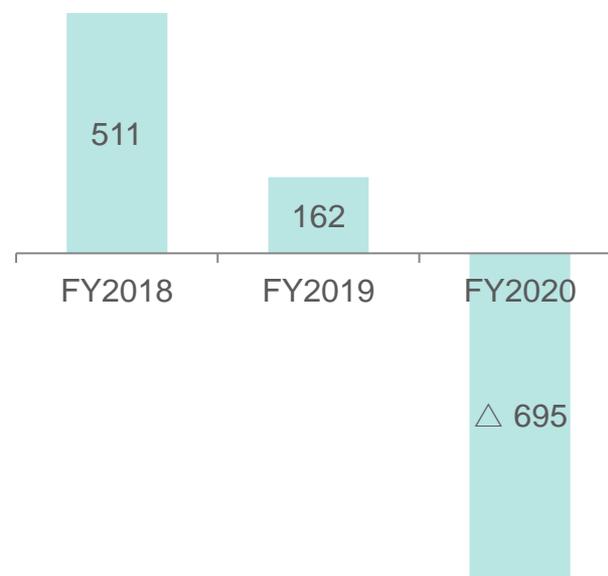
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



貸借対照表

2019年12月期末

2020年12月期末

(単位:百万円)

資産合計 13,177

資産合計 15,294

流動資産	8,450	その他負債	2,230
		有利子負債	2,945
固定資産	4,726	純資産	8,002

流動資産	8,461	その他負債	2,270
		有利子負債	4,713
固定資産	6,833	純資産	8,311

	2019年12月期末	2020年12月期末
現金預金	2,050	2,341
NET有利子負債	895	2,371
自己資本比率	59.9%	53.4%
ネットD/Eレシオ	0.11倍	0.29倍
(新規事業分)		
新規事業分の有利子負債	-	1,182
新規事業分を除く有利子負債	2,945	3,531

※有利子負債はリース債務を除く利子を支払っている債務

FY2021 計画と取り組み



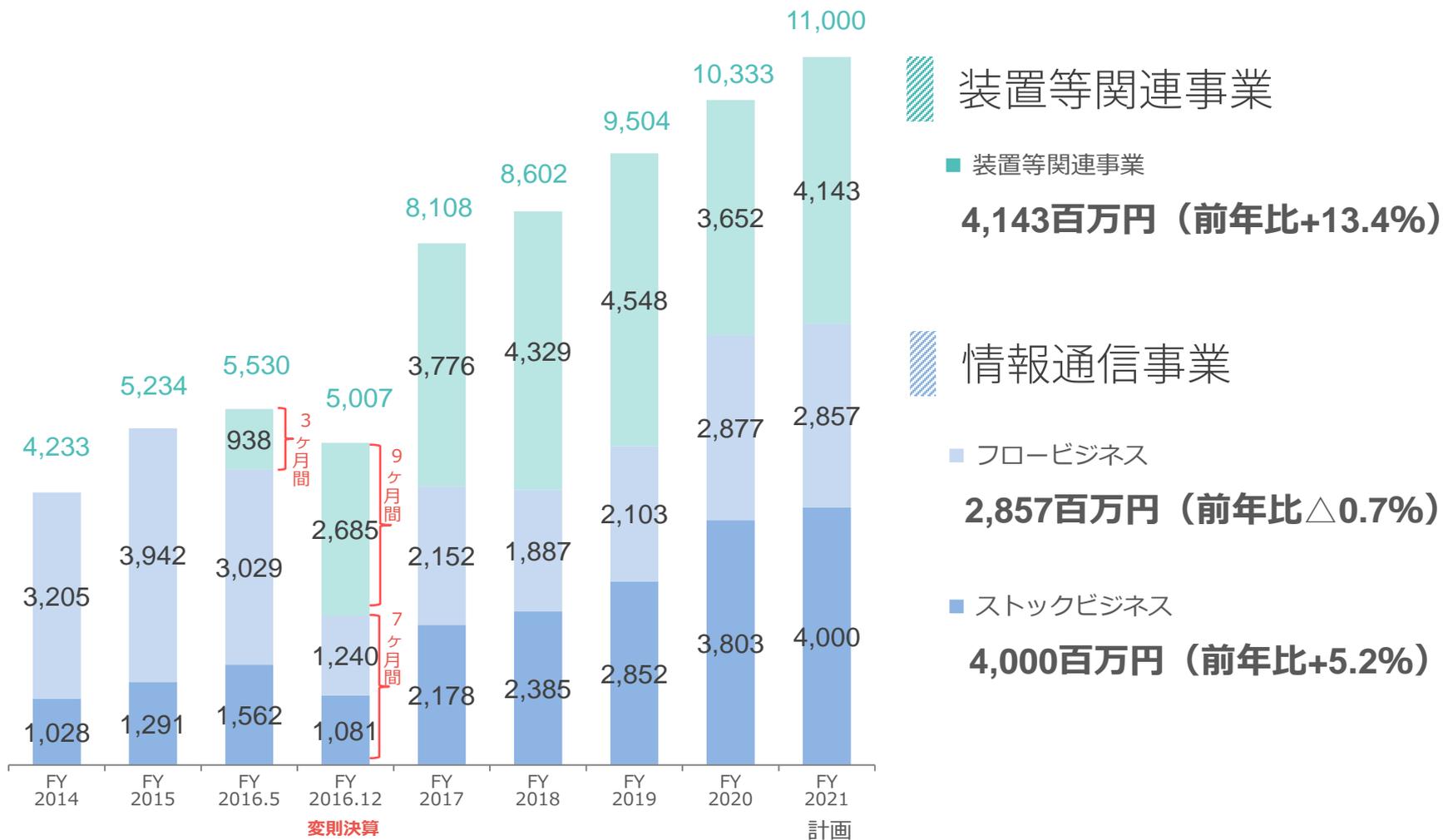
FY2021 通期計画

(単位：百万円／下段は売上比)

	FY2020 (実績)	FY2021 (計画)	増減額	増減率
売上高	10,333 (100.0%)	11,000 (100.0%)	+666	+6.4%
営業利益	△284 (△2.8%)	500 (4.5%)	+784	—
経常利益	△256 (△2.5%)	468 (4.3%)	+724	—
最終利益	169 (1.6%)	294 (2.7%)	+124	+73.8%
配当金 (予想)	5円	5円	—	—

FY2021 セグメント別売上高計画

(単位：百万円)



事業の重点テーマ

■ ストックビジネスへのシフトを加速

- 既存のフロー&ストック（モノ売りからのサービス展開）のビジネスモデルから月額定額化（完全ストック化）を推進 ※サブスクリプションモデル
- 顧客基盤に対して+aのサービスを創出する

■ ペイメントを中心としたサービス展開へ

- 得意とする公共交通を中心にペイメント中心のサービス構成へとシフト、ポイントサービスや企画乗車券電子化、ODデータ（乗降人員カウント）なども展開する

■ グループ連携事業

- バーチャルとリアルの技術力を融合してロボット開発を本格的にすすめる（ホテルマルチメディアとも連携）

顧客基盤（月額サービス契約数21万件）

-  ...タクシー 約27,500台
-  ...バス 約10,000台
-  ...物流他 約93,500台
-  ...ホテル 約79,000室

中国

-  1,600台
-  1,400台
-  1,700台
-  4,200室

中部

-  3,100台
-  500台
-  10,400台
-  13,100室

北海道

-  800台
-  1,000台
-  1,600台
-  3,800室

東北

-  1,200台
-  0台
-  4,900台
-  10,000室

九州・沖縄

-  8,200台
-  1,100台
-  16,300台
-  11,400室

四国

-  400台
-  0台
-  2,300台
-  5,000室

関西

-  5,300台
-  4,400台
-  9,800台
-  17,500室

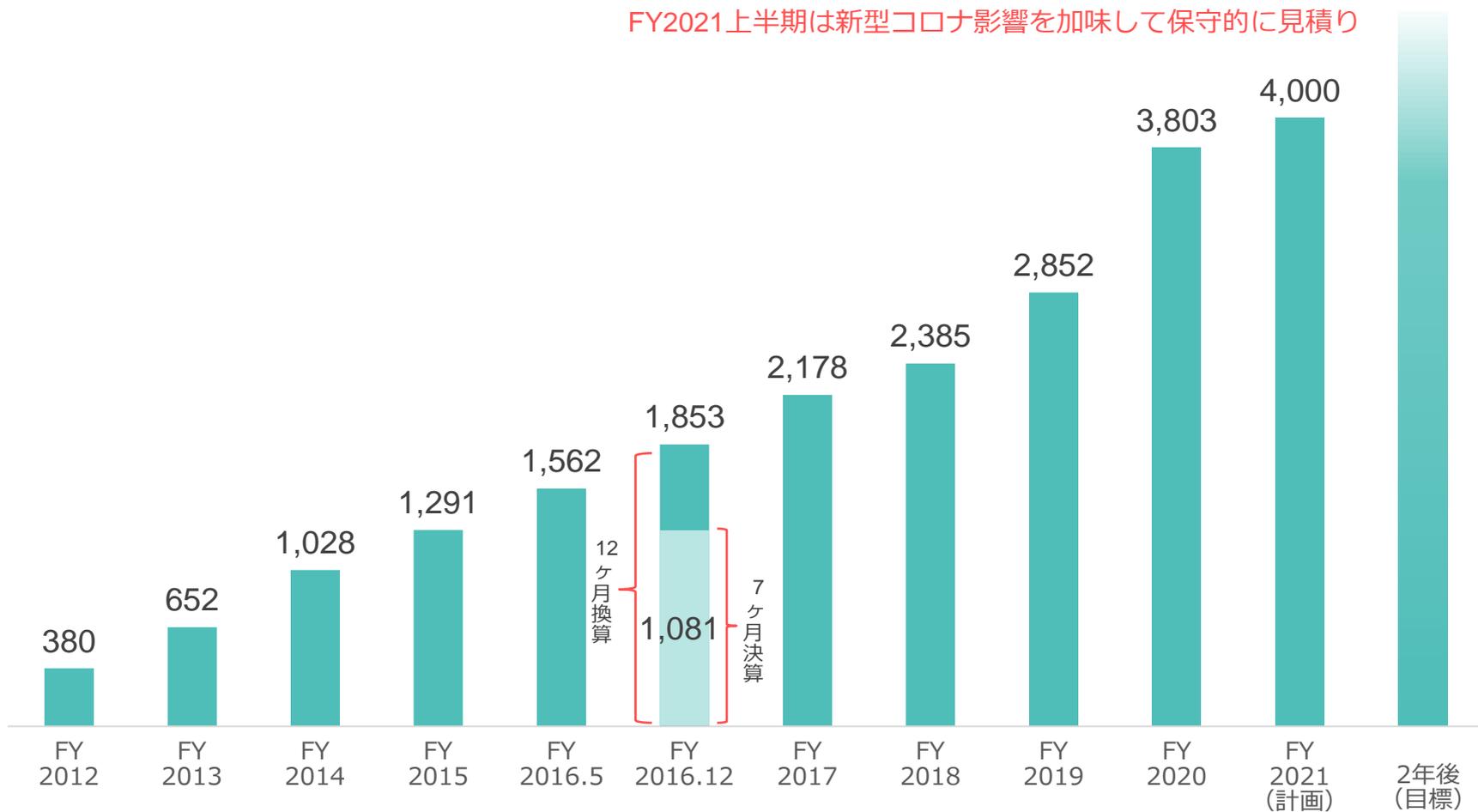
関東

-  6,900台
-  1,600台
-  46,500台
-  14,000室

ストック売上の推移

(単位：百万円)

FY2021上半期は新型コロナ影響を加味して保守的に見積り



ストック型ビジネスの成長イメージ

サブスクリプションモデルのビジネス展開と+αのサービス創出

(例) 月額100円UP×12ヶ月×21万契約 = 年間2.5億円拡大



主力のIP無線サービスの進化

主力のIP無線のラインナップ追加と+aのサービス展開
業務のコミュニケーションツールとして利用シーンが拡大

メイン市場



タクシー



トラック



バス

新たな市場開拓



防災



警備



建築現場



廃棄物事業



医療・福祉



教育機関

従来の音声+動態に加えてサービスを追加（必要なサービスによりデバイスを選択）

従来サービス

音声
（一斉通話等）



動態管理



追加サービス

外部機器接続
（ドライブ・デジタル）



画像・動画送信



LINE連携



チャット機能
（テキスト）



防水・防塵機能



IP電話機能
（外線通話）



車載型（従来からの主カデバイス）



IM-870

ハンディ型（好調な新デバイス）



IM-550



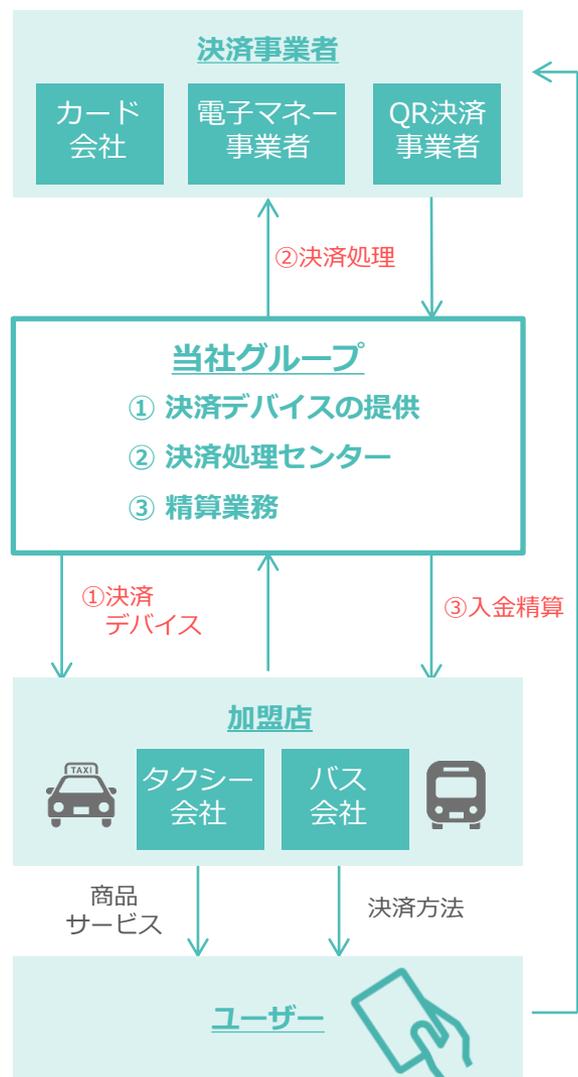
IM-530

スマホアプリ



iMESH

ペイメントサービス (現在)



タクシー決済システム



Vクレジット



Felica

月額定額
プランが好調

バス決済システム



WAON

交通系ICカード以外の電子マネーによる
多区間運賃決済は全国初

OKICA



沖縄本島乗車券システム
2015年にリリース
バス・モノレール向け

43万枚
突破

発行枚数

ペイメントサービス（今後の事業展開）

ペイメント

×

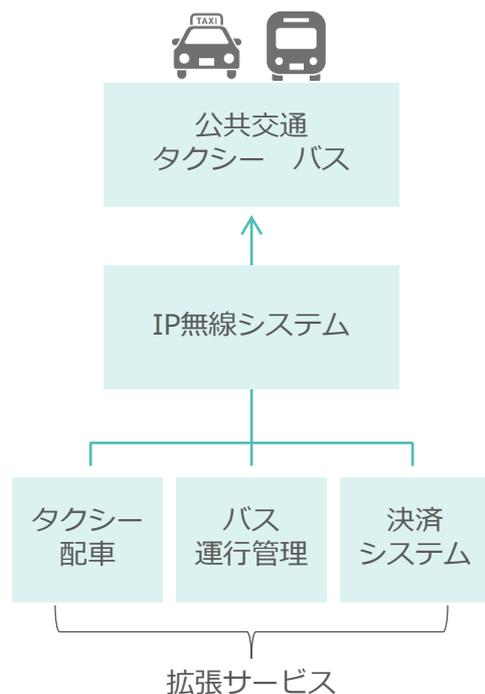
公共交通

×

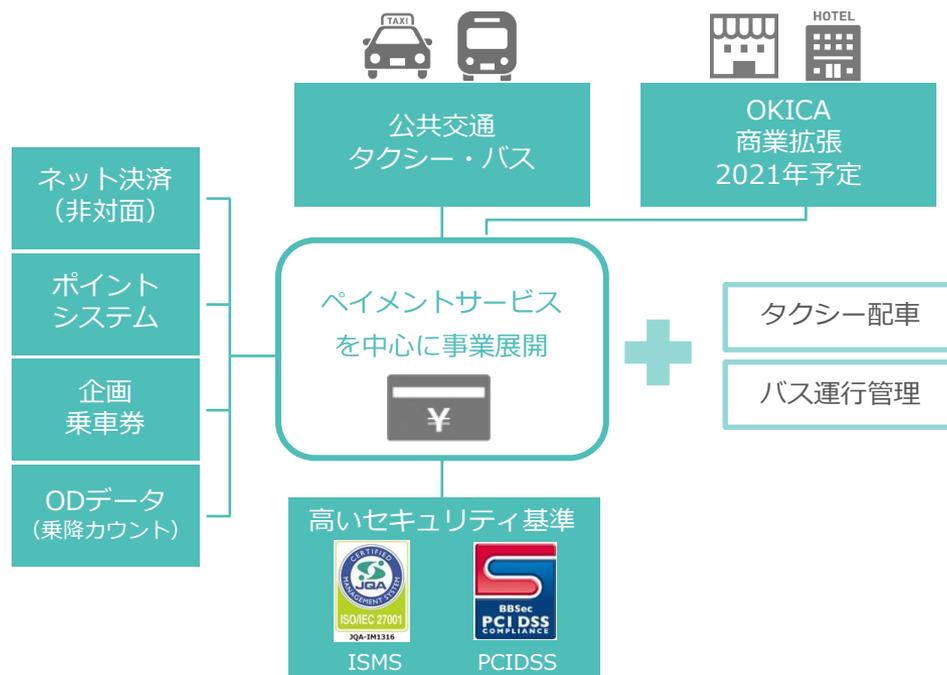
位置情報

Maasの基盤整備

今までの事業イメージ



これからの事業イメージ



ISMS:情報セキュリティマネジメントシステム

PCIDSS:国際カードブランド5社共同で策定されたカード情報保護に関する国際基準

※モバイルクリエイトは上記基準に準拠しています

グループ連携事業

ロボット事業を本格的にスタート

- グループ5社の技術連携
- 感染対策用無人配送ロボット開発・実証事業
ciRoboticsが受託
宿泊療養施設等での感染拡大防止対策・療養者と従事者相互の負担軽減を目的とした無人配送ロボットシステム
- 完全オリジナルの搬送用ロボットを開発中

 ciRobotics	ロボット・ドローン事業会社
 Mobile Create	ソフトウェア・通信技術を提供
 IKK	機械設計製作、精密加工技術を提供
 EKTS	ホテルマルチメディアとの連携
 PRIMECAST	3DグラフィックスのWebサービス

ドローンアナライザー



(一財) 機械振興協会主催の
「第55回機械振興賞」にて奨励賞を受賞

福島ロボットテストフィールドに導入
日本初のドローン機体性能を評価する装置。飛行時と同様の負荷をかけ、ドローンの性能や耐久性、安全性、バッテリーの性能等进行检查できるシステム。

シングルロータードローン



ドローン物流社会実装プロジェクトに参加

長時間飛行能力、高い積載能力、高い耐風能力が特徴の多目的シングルロータードローン。可変ピッチ式のため、14m/sの風でも飛行が可能で最大飛行速度は108km/h。

モバイルロボット・マニピュレータ



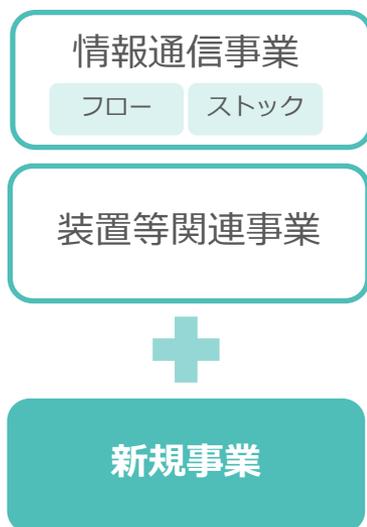
大手医療機器メーカーに導入

マップデータを元に走行を行うモバイルロボット。マニピュレータを組み合わせたモバイルマニピュレータが人の代わりに搬送、作業を行う。上位システムからの通信による搬送指示が可能でフレキシブルな運航を実現。

セグメント変更

セグメント変更

セグメントに「新規事業」を追加し、3区分に変更



新規事業については、当面はBS情報がメインで、売上高計上はFY2022からの予定

新規事業

本社前土地の有効活用（安定収益の確保）

- 大分市東大道の本社前土地（3,163㎡）
- 賃貸マンション新築、不動産賃貸事業を開始
- 30年間の一括借上契約
- 賃貸事業開始（2022年1月～3月を予定）

賃料収入：年間約 2.7億円
30年間約 80億円



完成イメージはあくまでイメージで
実際とは異なる部分もございます

大分駅南地区シンボルロードに隣接

- 大分駅南地区は2019年都市景観大賞の都市空間部門
最高賞の国土交通大臣賞を受賞
- シンボルロード「大分いこいの道」は緑の大空間

参考資料



中核会社（モバイルクリエイイトの会社概要）

商号	モバイルクリエイイト株式会社 英文社名：Mobile Create Co.,Ltd.	 The logo for Mobile Create, featuring a stylized blue and green 'M' shape with the text 'Mobile Create' and the Japanese slogan '創りたい未来がある。' (The future we want to create is here.)
設立	2002年12月27日	
代表者	代表取締役社長 村井 雄司	
資本金	3億円	
本社所在地	大分県大分市東大道二丁目5番60号	
事業拠点	大分本社、東京営業所、関西営業所、福岡営業所	
従業員数	145名(2020年12月末現在)	
事業内容	携帯通信のインフラを活用した移動体通信網(MVNO事業)及びGPSを活用した移動体管理システムの開発・販売・運用・保守	

中核会社（モバイルクリエイイトの事業内容）



業務用IP無線システム「iMESH」

- 携帯電話通信網（NTTドコモ）を利用（日本全国利用可能。人口カバー率100%）
- 総務省の許認可不要、基地局不要、免許不要なので、すぐに利用可能
- 既存の業務用無線と同様に即時通話、一斉同報通信が可能
- 他の業務用無線よりも初期コスト、ランニングコストが安い。「GPS」を標準装備



タクシー配車システム「新視令」

- 無線システム、料金メーター、ナビゲーション機器等が連動
- 利用者の依頼に最適な車両を自動検索、自動配車を実現（業務効率化）



動態管理システム「モバロケ」

- トラック位置や動態情報がリアルタイムでPCやモバイル画面に表示
- 輸送ルート最適化（業務効率化）、急発進や最高速度などを警告（安全管理）



バスロケーションシステム「モバステーション」

- バス会社は、システムオンライン化による業務効率化を実現
- 利用者は、PCやモバイルから運行状況の確認や経路・乗り継ぎ検索が可能
- バスが停留所に接近すると、登録ユーザにはメールで、停留所には接近情報が表示



電子決済システム「Vクレジット」

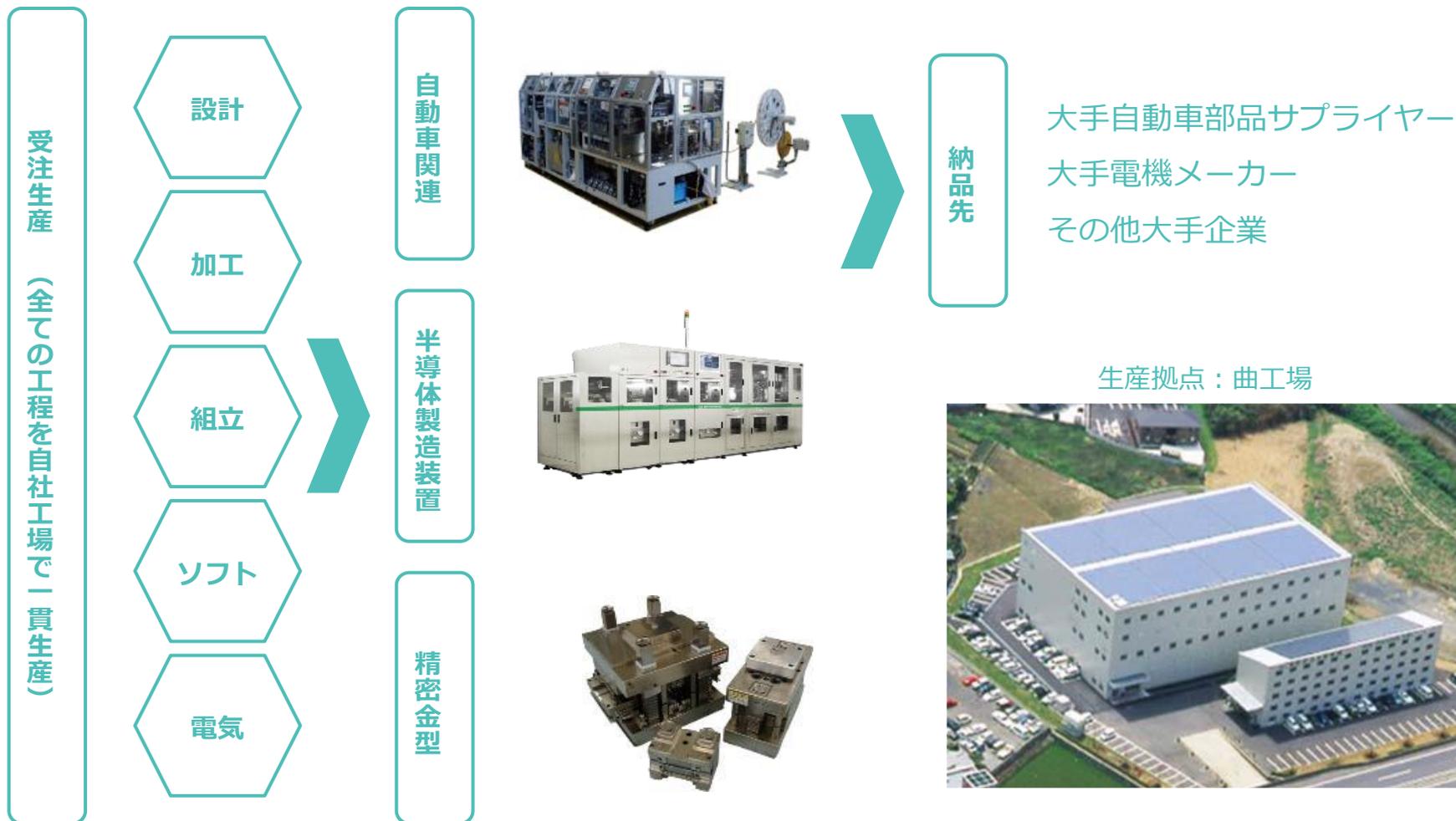
- 各種電子マネー、クレジットカードでスピーディな決済
- 自社開発(製造委託)による安価なFeliCa決済端末を使用

中核会社（石井工作研究所の会社概要）

商号	株式会社石井工作研究所 英文社名：ISHII TOOL & ENGINEERING CORPORATION	
設立	1979年1月5日	
代表者	代表取締役社長 中村 昭彦	
資本金	3億円	
本社所在地	大分県大分市東大道二丁目5番60号	
事業拠点	営業拠点：大分本社、東京営業所 生産拠点：曲工場（大分県）、杵築工場（大分県）	
従業員数	273名(2020年12月末現在)	
事業内容	半導体・自動車関連自動化装置、医療関連機器製造装置、自動包装装置などの設計・製造、精密金型、精密加工部品の設計・製造	

中核会社（石井工作研究所の事業内容）

- ▶ 部品から自社で制作し、多岐にわたる精密加工技術を有す
- ▶ 高い「ものづくり」の技術と大手企業を中心とした優良な顧客基盤



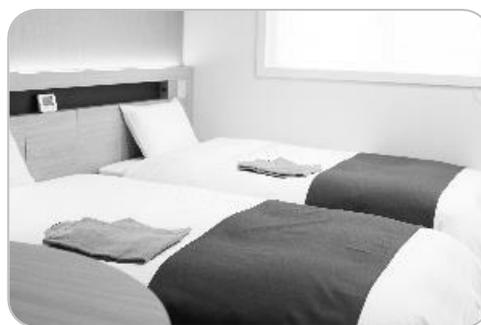
中核会社（ケイティーエスの会社概要）

商号	株式会社ケイティーエス 英文社名：KTS Co., Ltd.	
設立	1981年2月27日	
代表者	代表取締役社長 本地 洋一	
資本金	9,800万円	
本社所在地	大分県杵築市山香町大字南畑5004番地100	
事業拠点	大分本社、東京支店、大阪支店、札幌営業所、岐阜営業所 宇佐工場（大分県）	
従業員数	99名(2020年12月末現在)	
事業内容	ホテル事業者向けのマルチメディアシステムの開発・運用・保守及び半導体の基板事業、製造装置事業	

中核会社（ケイティエスの事業内容）

ホテル事業者向けシステム開発・販売・保守

- 客室マルチメディアシステム「SiTV」
- リネンシステム
- 監視カメラ
- 施設混雑案内システム



レストラン混雑状況案内



リネンシステム



ホテル案内・多言語化機能



ミラーリング機能





【連絡先】 F I G株式会社 社長室
【住所】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
【TEL】 097-576-8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

※「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
※「FeliCa」はソニー(株)、「WAON」はイオン(株)、「OKICA」は沖縄ICカード(株)の登録商標です。